

Nos pièces favorites

～わたしたちのお気に入りの作品たち～

道南出身の3人が繰り広げるフルート・クラリネットとピアノのコンサート。

国内外で活躍する、ある音楽家の一言。

「音楽に国境(こっきょう)はないが、演奏には国境(くにざかい)がある。」

フランスとドイツで学んだ3人の音楽を、ここ芸術ホールからみなさまへお届けいたします。



佐々木花菜

flute

函館市出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース管弦打楽器専攻を卒業。在学中に学内ソロ選抜演奏会、卒業演奏会に選抜される。第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会にて入選。平成26年度札幌市民芸術祭新人演奏会オーディションに合格し、大賞を受賞。大学卒業後フランスのパリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学。演奏課程を審査員の賞賛付き満場一致の第1位で、室内楽科においても審査員の満場一致で修了。また、パリ郊外ブローニュ・ビヤンクール地方音楽院にて室内楽科を修了。これまでにフィリップ・ベルノルド、フローラン・ボファール、両氏のマスタークラスを受講。フルートを野口真弓、岡麻夕美、高橋聖純、阿部博光、ヴィセンス・ブラッツの各氏に、室内楽を内田輝、故ニコラ・リスレー、マリー・フランソワ・パロの各氏に師事。2018年に帰国後、遺愛女子高等学校吹奏楽局副顧問、ヤマハミュージックジャパンの講師として後進の指導にあたりながら、函館を拠点にソロや室内楽、妹の佐々木萌絵とのフルートデュオを結成など幅広い演奏活動を行っている。



鳥瀨さくら

clarinet

北海道森町出身。国立音楽大学在学中、第6回ヤング・クラリネットティストコンクール入選、第25回欧州音楽講座にてビュッフェ・クランボン賞を受賞。同大学首席卒業と同時に武岡賞を受賞し皇居内桃華楽堂にて御前演奏を行う。卒業演奏会、第32回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。レインボー21サントリーホールデビューコンサート2014にソリストとして出演。その後、渡仏。パリ地方音楽院コンサーティスト課程、マルセル・デュブレ音楽院DEM課程、パリ区立ジャン＝フィリップ・ラモー音楽院バスクラリネット科DEM課程をそれぞれ全て審査員の満場一致で卒業しディプロムを取得。2019年第36回日本管打楽器コンクールクラリネット部門にて第2位。これまでにクラリネットを村松時雄、武田忠善、生島繁、大和田智彦、フローラン・エオー、オリヴィエ＝ピエール・ヴェルニョの各氏に、クラリネットとバスクラリネットをブルーノ・マルチネズ氏に師事。室内楽をパスカル・ル・コル、フローランス・ベロン、アニー・バルメイエーの各氏に師事。



類家 唯

piano

函館市出身。京都市立芸術大学を卒業後、ドイツへ留学し、ハノーファー音楽演劇大学を卒業。ピアノを新明真貴、布施谷信子、野呂佳生、宮澤功行、田中宏明、岡田敦子、松田康子、E.ステーション＝ネックレベルクの各氏に、ソルフェージュを佐々木茂氏に師事。第7回AOCC子供の為の海外派遣コンクールピアノ中学生部門にて最優秀賞、及び札幌市教育長賞を受賞。第52回全日本学生音楽コンクール北海道大会中学生の部で第2位。函館市青少年芸術教育奨励事業コンクール(1999年、2002年)金賞。第15回吹田音楽コンクールピアノデュオ部門第2位。第6回かずさアカデミア音楽コンクールピアノ部門で第1位。同コンクール入賞者演奏会にて、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(山下一史指揮)と共演。第2回野島稔・よこすかピアノコンクールで最高位。フレッシュ・アーティストツfromヨコスカシリーズ31にてソロリサイタルを行う。函館音楽祭代表、クリアシオン会員、函館音楽協会会員、日本ショパン協会北海道支部函館地区会員。HMA講師。

新型コロナウイルス
感染症予防対策に
ご協力お願い致します



マスク着用



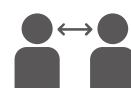
アルコール消毒



手洗い



検温



ソーシャルディスタンス



座席の間隔